



第54回 全日本大学野球選手権大会の応援風景（対：東海大学）

日本大学
国際関係学部

校友会々報

第36号

静岡県三島市文教町 2-31-145

日本大学国際関係学部

校友会

平成十七年度

常任幹事会・幹事会開催

◎常任幹事会

平成十七年七月九日（土）十六時から、三島グランドホテルにおいて開催された。

柴田正会長挨拶のあと、田中由雄幹事長及び野田正人常任幹事会計担当から幹事会への議事等について説明があり、各項目ごと詳細にわたり審議された。

柴田正会長から本部校友会評議員の推薦者について提案され、推薦者名の本部提出期限もせまつているので、選出方法については柴田会長に一任すること了承され、決定次第事務局へ報告することとなった。

◎幹事会

平成十七年七月九日（土）十七時から、常任幹事会に引き続いて開催された。関野幹雄常任幹事の司会で進行され、柴田正会長挨拶の後、議長団・書記が選出された。議長には馬場妙子幹事、副議長には弓場重明常任幹事、書記には渡辺孝哉常任幹事がそれぞれ選出され、次の議事が審議された。

- 一 平成十六年度事業報告
- 一 平成十六年度決算報告
- 一 監査報告
- 一 平成十七年度事業計画（案）
- 一 平成十七年度予算（案）
- 一 会則改定の件
- 一 役員改選の件
- 一 会報掲載原稿について
- 一 各科活動報告
- 一 その他

田中由雄幹事長から、平成十六年度事業報告がなされ、続いて平成十六年度決算報告が野田正人常任幹事会計担当から報告、染谷徳昭会計監査から監査報告があり、

それぞれ承認された。

続いて平成十七年度事業計画（案）については田中由雄幹事長から、また平成十七年度予算（案）については野田正人常任幹事会計担当から提案され、審議の結果両議案とも承認された。

会則改定の件については、田中由雄幹事長から主な改定項目として、名称の校友会規約を校友会会則に、役員任期を二年から三年に、会費を別に定めることの三件の提案があり審議の結果承認された。

また、第九条一項についての文案が現状とあわないので常任幹事会で検討の上総会までに修正して頂きたい旨の意見があった。

役員改選の件については、田中由雄幹事長から平成十八年三月三十一日付けで現役員が任期満了になるとの提案がなされ、審議の結果再任とのことで承認された。任期は平成十八年四月日から三ヶ年とする。また校友への総会等の通知を密にするため、国際関係学部同窓会役員五十六名・桜栄会役員四十五名を常任幹事及び幹事として、事務局から推薦したい旨の提案があり、承認された。

会報掲載原稿については、今回第三十六号の発行となるが広く校友からの原稿執筆者を募集したいとの報告がなされた。

各科活動報告では、山内幹事から学泉寮の現状等について報告がなされた。

その他として柴田正会長から本部主催の年間会議報告並びに役員及び会員の本部校友会正会員への加入促進の協力がなされ、閉会となった。

日に日に、新たな 努力と成果を



国際関係学部長

佐藤 三武朗

校友の皆様におかれましては、ご清栄のことと存じます。

銀杏並木も色づき、通学する学生たちの目を楽しませています。校庭から望む富士の絵姿はさすがしく、私たち教職員の気持ちを引き締めてくれます。

九ヶ年に亘って日本大学の発展のためにご尽力下さった瀬在幸安総長が退任し、その後任として小嶋勝衛理工学部長が新総長に選出され、九月一日より新体制を発足させました。新総長の下、日本大学はその持てる力を発揮し、社会のニーズとグローバル化時代に対応して発展すると確信しています。校友会の皆様におかれましても、小嶋総長と新体制に対するご支援を頂きたいと思えます。

教育を取り巻く状況には依然として厳しいものがあります。文部科学省から平成一七年度の大

学生数は今も減少しています。全入学時代を迎えた現在、各大学は熾烈な生き残り競争を繰り広げています。とりわけ、国立大学と公立大学の独立法人化は、私立大学にとって脅威です。

三島キャンパスは教職員が丸となって、学生の指導と教育に当たっています。意欲と情熱に加えて、大学を取り巻く現状を認識し、知恵を出し合うことが大事です。従来の教育・研究方法では社会の評価を得ることは困難です。学生気質も大きく変わっていますから、私たち教職員も従来の姿勢と教育観では対応できないかもしれません。

小さい学部ながら、三島キャンパスは生き残ってゆく努力と情熱では負けないつもりです。日本大学のどの学部にも先駆けて、ジョイント・デグリー・プログラムを発足させました。これは学生の語学力と成績によって、在学期間中に二つの学位が取得できるという制度です。アメリカの州立大

学ストーリー・ブルック大学と協定しました。来年には学生をアメリカに送り出せると思います。前後期を区分し、完全な形で成績処理を行うセメスター制度も定着しつつあります。週に二回の授業を実施しますから、学生も教師も負担を強いられませんが、グローバル化への対応には仕方がありません。アジアの諸大学はすでに実施しています。

国際関係学部の野球部が県大会と東海大会で優勝し、神宮大会へ出場しました。今まで東海地区の大学は初戦を突破できませんでしたが、日大に寄せられた期待は大きく、選手の活躍で、初戦を突破し、二回戦に進むことができました。東海大学には惜敗しましたが、次回には雪辱を期するつもりです。ご声援に深く感謝します。

短期大学の食物栄養学科がGP、いわゆる「特色ある教育」で、文部科学省から補助金を授与されました。県内と日本大学においては、本学短期大学部が初めての受賞です。長年に亘って食物栄養学科が地域と連携し、大きな成果を収め、それが認められたということでは望外の喜びであります。

日に日に新たな気持ちと情熱で学生指導と教育に頑張ってくつもりです。改めて校友の皆様のご支援とご理解をよろしくお願いいたします。

魅力ある大学を目指して



国際関係学部事務局長

鈴木 弘文

校友会の皆様方には、日頃から三島キャンパス発展のためにご尽力賜りまして心より感謝いたしております。

現在、三島キャンパスでは、佐藤三武朗学部長を中心として、種々の事業が行なわれております。中でも種々の三島駅北口の開発は、最重要事業として、慎重に検討を重ねながら計画が進められております。もともとは三共(株)三島工場の跡地(約一ha)で、三島市が約三、五〇〇㎡を、本学部が約四、九二〇㎡を購入いたしました。学生のための快適空間を創造することとは勿論のこと、地域にとりましても有益となるような複合多機能ビルの構築を目指しております。また、静岡県では、県立静岡がんセンターの開設をきっかけにファルマバレー構想(富士山麓先端健康産業集積構想)が始動しておりますが、大学としても三島駅北口の開発を通じ、人的的資源及び施設等の提供により、積極的にこのファルマバレー構想の一翼を担っていければと思っております。着工は、平成一八年度の予定であります。

定で、トップレベルの教育研究拠点となるような施設として、跡地を利用していく予定であります。数学面の新たな試みとしては、

ジョイント・デグリープログラムで、これは二種類の学位が取得できるという画期的なものであります。具体的には、ストーリーブルック大学(米国)に留学し、最短期間で日米双方の大学を卒業できるというシステムです。一・二年度は国際関係学部で学び、ストーリーブルック大学に三年度から編入し、人文科学・社会科学のコースから選択して四年度まで授業を受け、五年度には国際関係学部に戻り、最終的に本学部で取得した単位にストーリーブルック大学での留学中の単位を加算し、合計単位が両校の基準に達すれば二つの大学から学士号を授与され、卒業が認められます。留学先の二年間の学費については、学費相当額を奨学金として給付するなど、学生の経済的な負担についても配慮しております。来年度から年間で二五名程度を選抜し派遣をする予定になっております。

三島キャンパスでは、文武両道も念頭に置き頑張っており、昨年の後半から今までの努力が開花し、運動面で数々の好成績を残すことが出来ました。昨年の一〇月には、創部二年目の女子駅伝部が第一〇回関東大学女子駅伝対校選手権大会において第八位に入賞し、大阪で開催された第二二回全日本大学女子駅伝対校選手権大会への出場権を獲得し、その全国大会では二五校中一四位と健闘いたしました。また、男子駅伝部も昨年一〇月に行なわれました第一六回出雲全日本大学選抜駅伝競走において日本大学が優勝し、今年一月の箱根駅伝大会でもサイモン選手が区間賞を記録し、総合で第三位となり、観衆を大いに沸かせてくれました。また、硬式野球部も今年三月から行なわれました静岡県学生野球春季リーグで優勝し、二連覇を達成いたしました。また、この勢いは、続く東海大会へもつながり、三重県と岐阜県の代表を破り、昨年の雪辱を果たし見事に優勝し、第五四回全日本大学野球選手権大会への出場権を獲得しました。静岡県からは過去にこの全国大会には静岡大学と静岡産業大学が出場していますが、まだ一勝をあげたことがありません。第一回戦は、北九州市立大学と対戦し、

一対〇の接戦で静岡県勢初の一勝をあげることができました。第二回戦は、東海大学と対戦し、惜しくも敗れました。しかし、応援は、ライブドアのインターネッ トニュースにも取り上げられ、絶賛されました。これまで、学生並びに本学部校友会の皆様方と一丸となり母校の応援をする機会が無かったので、大変喜ばしいことだったと思っております。

誇りと情熱



国際関係学部校友会会長
柴田 正

以上のように、三島キャンパスは多様な事業を展開し活気が溢れております。目前に迫っております全人時代に対応すべく、様々な対策を講じ、魅力ある大学を目指し邁進してまいりますので、これからも変わらぬご助言ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

会員の皆様方には、お元気で御活躍のことと存じます。日頃の校友会活動への御尽力心より御礼申し上げます。

二〇〇五年、新春恒例の第八十一回大学箱根駅伝の応援で校友会活動がスタート致しました。昨年同様第六区の応援受持を、小早川副会長、相田副会長、田中幹事長、弓場常任幹事、沼津・三島・御殿場の校友会の方々の御尽力により、大学との連携のもとで無事に努めることができました。本年も本部校友会と協力し、応援を行いたいと思います。本年は、横山常任幹事に新たに役員として活動して頂くことになりました。校友会会館建設委員として、平

た。昭和四十年は東京オリンピックの翌年。建築、家電がリードしていました。今はITがリードしています。各期毎にリード産業が違いますが、生きている経済の証明となります。又、各期において、大地震、台風等の自然現象も起きています。二十年毎のパワーアップ。このチャンス逃さずアタックしていきたいものです。

校友会活動としては、まだまだ

国際関係学部 創部三十周年に向けて



国際関係学部校友会副会長
国際関係学部同窓会会長
宮下 公雄

沢山のことを進めていかなければなりません。が、会員・準会員の皆様と力を合わせて頑張りたいと思っております。

卒業後、何かとご多忙の毎日とは思いますが、校友会活動をご理解頂き、年一回ではあります、旧交を温め、新たな明日を目指すべく総会へお出掛け下さい。

発展してきました。

先日、の国際関係学部校友会幹事会に集まった予科時代の諸先輩方から、兵が集まった学生時代の話を聞き、今もなお元気に活躍される原動力が、大学時代に同じ時間を過ごした同志との「語らい」にあることをつくづく感じさせていただきました。

西村先輩、中嶋先輩、宮澤先輩、鈴木先輩、平井先輩、柴田先輩、何時の間にか、多くの歴代、日本大学三島同窓会会長にお世話になり、国際関係同窓会も校友会へと

卒業から早二〇数年、日本大学三島同窓会の諸先輩に感謝しつつも、いつかは諸先輩のように

余裕のある生活を楽しみながら校友会に顔を出せればと考えていましたが、現実には程遠い生活をしております。慌ただしい時代に翻弄されつつ、いつの間にか時間ばかりが通り過ぎております。企業戦士として各業界で活躍する方々、主婦として家庭を支えておられる方、セミリタイアされた方、国際関係学部校友会に多くの仲間が集まりより発展的な討議「語らい」ができれば

架け橋



校友会活動に対します皆様のご御理解御協力を心から感謝いたしております。

昭和二十一年六月十五日、日本大学三島学園が予科として、今後一大総合学園と成る歴史的な第一歩を踏み出したわけですが、その道のりは、様々な形態をとり、教職員方の努力により、現在のようなグローバル化した社会に対応できる人材の育成を目指す国際関係学部へと変貌を遂げました。

ばと思います。

今後、我こそはと思われる方は、是非、各期幹事として立候補していただき、国際関係学部校友会の基盤作りに手を貸していただければと思います。今から数年後の、来る、創部三〇周年には多くの国際関係学部卒業生で祝いが出ればと思います。是非ともご協力をお願いいたします。

国際関係学部校友会副会長
商経科同窓会会長

小早川隆義

昭和二十八年三島同窓会が結成されましたが、生きる、考える、学ぶを共にした学生生活は、大変有意義なものでした。また、この自然豊かな三島の地は、青春時代を過ごすのに最適な場所でもありました。

混沌とした社会情勢の中で、時として自分を見失いがちになる昨今ですが、そんな時も私は、校友から様々な力をもらっています。本心に力強い存在です。

色々な意味において、今非常に注目を受けている我々団塊の



世代は、次の世代への大きな架け橋となっていると考えられます。

我々は、そんな意味でも三島キャンパスで培われた様々な歴史や伝統を国際関係学部の皆さんに託していくために、その架け橋とならなければという使命感を持っていきます。そして、この素晴らしい三島の地に様々な根付いたものを国際関係学部校友会として熟成し、隆盛させていくうではありませんか。



日大三島我が青春の始まり



国際関係学部校友会幹事

川崎 一成

一九五二年（昭和二十七年）今から五三年前教養学部の文学部英文科に入学。パンカラがまだ残る時代でした。角帽・学生服・黒靴が新入生の雄姿でした。校舎は兵舎で未だ銃架が廊下に馬小屋も何箇所も残っていました。

もや感動を受けました。「ぼろは着ても心は錦」とはこのようなことをいうのでしょうか。日大三島スピリット（逞しい精神）は日を追うて心に培われて来ました。昭和二十八年神田三崎町の通学となり、法学部政経に編入し、同時に剣道部に入部しました。理由は体を鍛錬したいのと剣道部の稽古が道場が無い為に午後六時から始まるからの二点でした。東京に来て人生観が一気に変わりました。東京には多くの大学があり剣道部の長浜先輩に他大学に受験したいからと申込んだところ、先輩の方々曰く、どこへ行っても同じだ、日大が一番いい、と諭されて結局日大で頑張ることに約束したわけでした。初心者で一番弱かったので奮起して一年間で四段の実力をつけました。戦後の関東大会で初めて団体二位を獲得しました。体育会と先輩の喜びは天を衝くものでした。勉学も頑張る大学院修士を修了して、陸上自衛隊の幹部候補生学校を卒業し、幹部として部隊勤務をすることになったのです。振り返って日大三島は心の故里ですね。

グラウンド、体育館も無く、新しい建物は正面左の講堂だけ、ここで入学式がありました。学生は殆ど地方の田舎出身者で真面目な者ばかりでした。先生も輪を掛けた真面目なフロンティアスピリットに満ちた先生ばかりでした。鈴木（知）先生の国文学は受講生が少人数（五名くらい）で家族的雰囲気、慈父の如き存在でした。漢文の沼尻先生は代返（欠席者に代って返事する事）防止のため、一人ひとりの学生に印鑑を押していました。考古学の軽部先生は自分一人で自宅を建てていました。倫理の玉津先生は冗談一つ云わず、時間一杯に休みも忘れて熱烈な授業をやっていました。日大はすごい大学だと感銘を受けました。このフレッシュな学生に他大学に負けない立派な人材を育成しようとする態度にまた

校友会会長賞受賞者



国際交流学科四年生

深川 大

本学に入學して何をしようかと考えたとき、高校生のときには経験できなかった大きな仕事に携わろうと心に決めました。この気持ちを胸に私は大学公認団体の文化系クラブをまとめる文化会執行部に入部しました。

入部してから、初めて行う仕事の驚きと、クラブの要望などをなんなく処理している先輩に対する感心でいっぱいでした。執行部には個性的な人が多く、辛いことや失敗したことも多かったのですが、それ以上に仕事が終わった後の達成感をみんなが共有できることの素晴らしさに感動しました。

尊敬する先輩たちが卒業し、文化会執行部委員長に就任したとき、大きな重圧に押し潰されそうになりました。委員長として自分は何ができるのか？など、二代前からの文化会執行部を間近で見ていることもあり不安で

した。しかし多勢の協力のもと自分が先頭に立って執行部の意見を聞き、方向性を決めていくことにより、第十二代文化会執行部はゆっくり前に進むことができました。以前の執行部の真似をするのではなく、以前の良かったところと悪かったところを上手にまとめ、自分なりの執行部を作ればそれで良かったのです。

もちろん、この文化会執行部が完成形だとは思いません。今よりも未来の文化会執行部が良くなるものになっていると信じています。

私はこの大学で多くの先輩、後輩、同期の仲間、さらには大学教職員の方々に出会えたことに大変感謝しています。国際交流学科の金谷ゼミで地域の方々にふれあえたことも大きな財産です。皆さんの力を借りずして今このように、過去を振り返りながら執筆している自分はありません。

私は皆さんという「誇り」をリュックに詰めて社会という大で長い旅に出ようと思います。そして旅に迷ってしまったときは、大きなリュックを開け、また皆さんの力を借りるかもしれません。その時はよろしくお願いたします。



国際ビジネス情報学科四年生

綱島 昇

三島キャンパスに在学すること、本当に充実した学生生活を残せた実感しています。

学生会活動により校友会長賞を頂くことができましたが、学生という学業以外の場に没頭できたのも、国際関係学部ならではの留学制度や語学・資格の講座といった恵まれた学習環境を与えて頂いたためだと思っています。就職活動のため三島キャンパスでの3年間を見つめなおす時期を終えた今、改めて大学で得た経験や挑戦の価値を感じました。私が参加できたイン

ドへの留学は、第1回目のグループだったこともあり、緊張しつつも精一杯取り組んだことで様々なことを学ぶことができました。現地の学生や先生方とメールで手軽に連絡を続けられるという今の当たり前でさえ、入学当初には想像すらできませんでした。留学までに大学の夏季語学講座などに参加することで、同じ大学内に同じ目的と緊張感

をもつてがんばる学生が数多くいることを知り、励みになったことを覚えています。国際ビジネス情報学科の岡本ゼミで学んだことを活かすことや共に行動した友人達と支えあうことも、社会に出てからも続けていきたいと思っています。

3年次は委員長を務めさせて頂いたことで、常に頭の中は学生会CSAのことで一杯でした。それまで暇さえあれば資格取得やバイト等自身の目的を優先させてばかりだった私が、どれだけ大学と学生に貢献できていたのかは、自分では計れません。行事を増やしたことが直接伝統を発展させたとは明言できませんが、国際関係学部に対応していると思う時事問題についての講演会や、学園祭でのゼミ発表をオープンキャンパスと並行して開催できたことを振り返ると、大学と学生と地域を結びつける学生会の意義について、また所属できたことについて素直に嬉しく思います。いつも支えてくれた学生会CSAの一人ひとり、今を創られた先輩方、教職員の方々に心から感謝したいと思います。ありがとうございます。



短期大学部商経学科二年生

勝又美咲

この日本大学での学生生活は、私にとって充実した時間を過ごすことができたように思います。二年間悔いなく、部活動に打ちこむことができました。

一年前の春、私は二つの目標をもって日本大学に入學しました。まず一つは、私が所属する陸上競技部で全国駅伝に出場することです。私たち女子長距離はできてから日が浅く、全国大会はとても遠いものでした。ですが、部員全員が全国大会に出場したいという思いをもって、毎日練習に励んできました。その甲斐もあり昨年は全国の舞台でたすきをつなぐことができました。結果は良いとはいえるものではなかったのですが、次へつなげることができたと思います。大学駅伝では六人の選手がたすきを持って走ります。一人では駅伝を走ることはできません。選手全員で協力して、初めて結果がでる競技です。だから

私はこの競技が好きなのですが、だからこそ結果をだすのが難しい競技なのだと思います。今年もまた秋から予選が始まりますが、今回は「出場する」ではなく「入賞」を目標にしていきたいと思っています。

二つめは、個人で結果をだすことです。七月に行われる全日本学生大会で成績をのこせるよう、がんばってきましたが、自分が納得できるような成績をだすことができませんでした。自分の努力不足であったと思います。

二年間という短い期間しかこの三島キャンパスにいられませんが、陸上競技を通じ大勢の方と会うことができ、また支えてきていただきました。部活動では、目標に向かい達成するため努力することや仲間の大切さ、周りの人への感謝の気持ちを学ぶことができました。この日本大学で学んだことを忘れず、卒業してから夢に向かいがんばりたいと思います。



国際交流学科四年

塚田 泰章

三年前の春、私は大きな目標を持って入学しました。それは、創部間もない硬式野球部で全国大会に出場するということでした。しかし、いざ入部してみると愛好会の時の名残があり、茶髪の選手がいたり練習開始時間に遅刻してくる選手が大勢いたりと全国大会出場という目標は程遠いものでした。正直を言う目標を諦め、この大学に入学生したことを後悔したりもしました。そして、大学に入學して初めてのリーグ戦が開幕しました。結果はやはり出場七チーム中六位でした。しかし、こうした敗戦を機にどのようにチームが変わるべきか、どうしたら勝てるのだろうかと連日先輩達を中心にミーティングが行われました。こうして連日ミーティングが繰り返される中で少しずつ選手達の意識が変わってきました。そうするとチームとして変化が生まれいつの間にか茶髪の選手はいなくなり遅刻して来る選手も

誰一人いなく、全体練習後には誰もいなかったグラウンドには大勢の選手が残って個人練習に励む姿が見受けられるようになった。結果はすぐに表われ、創部三年目という速さで静岡県リーグで優勝を果たしました。その後、チームは着実に力をつけていき、全国大会まであと一歩というところまできましたが、その壁を越えられずにいました。そして、四年生になり四年間の集大成として入学時の目標であった全国大会出場のラストチャンスを迎えました。結果、念願であった全国大会出場を果たし、静岡県勢として初めて全国一勝を勝ち取りました。私は野球を通して改めて目標とは諦めたらそこで終わりであり、努力とは必ず報われると思いました。そして、今ではこの大学に入學して野球部に入部して本当に良かったと思っています。最後になりました、ご指導下さった監督、コーチ、多大なご支援いただいた大学関係者の方々、共に喜び、泣き、戦った最高の野球部員、温かく見守ってくれた両親に感謝いたします。本当にありがとうございました。



国際ビジネス情報学科四年

杉町カウエ

私はブラジルで生まれ、九歳の時に家族と日本へ来ました。日本語もその時から習い始めました。現在は日本大学陸上競技部に所属しており、四年間、この三島で練習に明け暮れる日々を送っています。

入学した当時は、とても全国で戦えるような力はありませんでした。しかし、さまざまな人との出会いを通して、自分は期待されているのだと思いました。一年生のときは箱根駅伝を目指していましたが、二年生からは中距離を始めて、自分の可能性を広げることができました。三年生になると同時に、ものすごくいやつが三島に来ました。そう、デイング・サイモン君です。初めて日本に来るサイモンは、日本語もわからないうちに、日本文化や習慣もわかりません。それを経験している私は、サイモンの世話を焼くため、二年間寮の同じ部屋で過ごしていると、サイ

モンの陸上競技に対するプロ意識の高さに刺激されました。私が高校の時に出した自己記録を三年ぶりに更新して、関東インターカレッジに一五〇〇mで出場して、二位という成績を収めました。続く日本インターカレッジでは五位でした。秋から冬の大学駅伝では、出雲、全日本、箱根とサイモンの付き添いを任せられ、チームの好成績に貢献しました。

四年生からは、三島のキャプテンとしてチームをまとめ、一五〇〇mのみならず、八〇〇mも走るようになって、関東インターカレッジは一五〇〇m四位、八〇〇m二位でした。サイモンは五〇〇m、一〇〇〇mで圧勝して、三島の頑張りが評価されました。日本インターカレッジでは、八〇〇mで、自己の最高順位にあたる、全国四位の成績を収めることができました。これも、三島のすばらしい環境の下で練習に励むことができたからだと確信しています。陸上競技を陰ながら支えて下さっているすべての関係者に心から感謝したいと思います。ありがとうございました。

平成 16 年度 事 業 報 告

- 1 国際関係学部校友会会長賞授与
平成16年度日本大学国際関係学部在学生から、次の者が国際関係学部長から推薦された。
・校友会会長賞（副賞：記念品）は、国際関係学部7名に贈られ平成17年3月25日の卒業式当日、ホテルパシフィック東京において授与式が行われた。
・校友会会長賞（副賞：奨学金）は、国際関係学部4名・短期大学部1名に贈られ4月4日開講式当日授与式が行われた。
- ①校友会会長賞（副賞：記念品）
板橋紗綾香（国際交流学科4年） 武田泰弘（国際交流学科4年） 渡邊頌子（国際ビジネス情報学科4年）
岩崎康全（国際ビジネス情報学科4年） 勅使河原武史（国際関係学科4年） 相見大輔（国際関係学科4年）
浅石友里子（国際交流学科4年）
- ②校友会会長賞（副賞：奨学金）
深川 大（国際交流学科3年） 網島 昇（国際ビジネス情報学科3年）
勝又美咲（商経学科1年） 塚田泰章（国際交流学科3年） 杉町カウエ（国際ビジネス情報学科3年）
- 1 日大スポーツ03
1,500部を平成16年4月国際関係学部・短期大学部（三島）各学科の新入生全員に対して入学祝として渡した。
- 1 会報発行
会報35号を平成16年10月30日付け12頁3,000部を発行した。
- 1 各科同窓会等補助
国際関係学部同窓会・桜栄会並びに大学の体育会及び箱根駅伝応援に補助した。
- 1 常任幹事会
平成16年7月10日（土）16時から、三島グランドホテルにおいて開催した。
- 1 幹事会
平成16年7月10日（土）17時から、三島グランドホテルにおいて開催した。
- 1 総会並びに懇親会
平成16年10月30日（土）16時から、三島グランドホテルにおいて開催した。
- 1 箱根駅伝応援
平成17年1月3日（月）復路スタート応援地点で応援した。また、平成17年1月2日（往路）3日（復路）の両日、国際関係学部体育会ダンス部が箱根で応援に花を添えた。

平成 16 年度 収 支 決 算 書

（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

（単位：円）

支 出 の 部				収 入 の 部			
項 目	予 算 額	決 算 額	差 額	項 目	予 算 額	決 算 額	差 額
奨 学 費	420,000	426,600	△ 6,600	会 費 収 入	10,773,000	10,374,000	399,000
日大スポーツ購入費	45,000	450,000	0	雑 収 入	4,589	378,255	△ 373,666
校 友 会 報 発 行 費	200,000	200,025	△ 25	預 り 金 受 入 収 入	0	0	0
国際関係学部同窓会分配金	4,755,000	4,581,000	174,000				
桜 栄 会 分 配 金	786,000	747,000	39,000				
各科同窓会等補助	300,000	260,000	40,000				
学 生 団 体 補 助	500,000	400,000	100,000				
総会並びに懇親会費	800,000	873,788	△ 73,788				
箱根駅伝応援補助	150,000	170,000	△ 20,000				
議 会 合 費	300,000	427,368	△ 127,368				
通 信 運 搬 費	150,000	149,210	790				
事 務 費	400,000	124,047	275,953				
雑 費	650,000	635,181	14,819				
本 部 校 友 会 会 費	470,000	470,000	0				
予 備 費	200,000	0	200,000				
計	10,531,000	9,914,219	616,781	計	10,777,589	10,752,255	25,334
基 金 繰 入 額	0	0	0	基 金 繰 出 額	0	0	0
次 年 度 繰 越 金	7,509,000	8,100,447	△ 591,447	前 年 度 繰 越 金	7,262,411	7,262,411	0
(前 受 金)	(0)	(0)	(0)				
(繰 越 金)	(7,509,000)	(8,100,447)	(△ 591,447)				
支 出 の 部 合 計	18,040,000	18,014,666	25,334	収 入 の 部 合 計	18,040,000	18,014,666	25,334

貸 借 対 照 表

（平成 17 年 3 月 31 日現在）

（単位：円）

借 方			貸 方		
項 目	金 額		項 目	金 額	
普 通 預 金	33,100,447		基 金	25,000,000	
定 期 預 金	0		前 年 度 繰 越 額	(25,000,000)	
			本 年 度 繰 入 額	(0)	
			次 年 度 繰 越 額	(8,100,447)	
			前 年 度 受 越 金	(0)	
			繰 越 金	(8,100,447)	
合 計	33,100,447		合 計	33,100,447	

基 金 の 内 訳

（単位：円）

項 目	前 年 度 繰 越 額	本 年 度 繰 入 額	合 計
校 友 会 事 業 基 金	25,000,000	0	25,000,000
計	25,000,000	0	25,000,000

平成 16 年度収支について、関係帳簿並びに証拠書類を精査いたしましたが、記帳その他正確であることを認めます。

平成 17 年 月 日

会計監査 染 谷 徳 昭 印
宮 川 守 印

平成17年度事業計画(案)

- 1 国際関係学部校友会会長賞授与(副賞:記念品もしくは奨学金)
日本大学国際関係学部及び短期大学部を平成18年3月卒業・4月進級の予定者を対象とする。
・校友会会長賞並びに記念品 国際関係学部 4年卒業予定者 各学科1名
短期大学部 2年卒業予定者 各学科1名
・校友会会長賞並びに奨学金 国際関係学部 各学科2・3年生 各学年1名
短期大学部 各学科1年生 各1名
- 1 日大スポーツ04
1,500部を平成17年4月国際関係学部・短期大学部(三島)各学科の新入生全員に対して入学祝として渡す。
- 1 会報発行
会報36号(平成17年10月29日付)14頁 3,000部。
- 1 各科同窓会等補助
①各科名簿編集の推進及び各科同窓会行事に対する補助。
②大学体育会・文化会に対する補助。
③箱根駅伝応援に対する補助。
- 1 常任幹事会
平成17年7月9日(土)16時から、三島グランドホテルにおいて開催する。
- 1 幹事会
平成17年7月9日(土)17時から、三島グランドホテルにおいて開催する。
- 1 総会並びに懇親会
平成17年10月29日(土)16時から、三島グランドホテルにおいて開催する。
- 1 箱根駅伝応援
平成18年1月3日(火)復路スタート応援地点で応援する。また、平成18年1月2日(月)往路ゴール応援地点及び平成18年1月3日(火)復路スタート応援地点で国際関係学部体育会所属(ダンス部)の学生が応援に参加する。

平成17年度収支予算書(案)

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位:円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
項 目	本年度予算額	前年度予算額	差 額	項 目	本年度予算額	前年度予算額	差 額
奨 学 費	520,000	420,000	100,000	会 費 収 入	11,736,000	10,773,000	963,000
日大スポーツ購入費	450,000	450,000	0	雑 収 入	303,553	4,589	298,964
校友会会報発行費	200,000	200,000	0	前 受 金 収 入	0	0	0
国際関係学部同窓会分配金	7,188,000	4,755,000	2,433,000				
桜栄会分配金	756,000	786,000	△ 30,000				
各科同窓会等補助	230,000	300,000	△ 70,000				
学生団体補助	500,000	500,000	0				
総会並びに懇親会費	900,000	800,000	100,000				
箱根駅伝応援補助	200,000	150,000	50,000				
会議会合費	430,000	300,000	130,000				
通信運搬費	150,000	150,000	0				
事務費	300,000	400,000	△ 100,000				
雑 費	650,000	650,000	0				
本部校友会会費	470,000	470,000	0				
予 備 費	196,000	200,000	△ 4,000				
計	13,140,000	10,531,000	2,609,000	計	12,039,553	10,777,589	1,261,964
基金繰入額	0	0	0	基金繰出額	0	0	0
次年度繰越金	7,000,000	7,509,000	△ 509,000	前年度繰越金	8,100,447	7,262,411	838,036
(前受金)	(0)	(0)	(0)				
(繰越金)	(7,000,000)	(7,509,000)	(△ 509,000)				
支出の部合計	20,140,000	18,040,000	2,100,000	収入の部合計	20,140,000	18,040,000	2,100,000

平成 17 年度役員

任期 (H17.4.1 ~ H18.3.31)

役 職 氏 名 (在学年度)	
常任幹事	高野 誠 (57~60)
常任幹事	勝又義博 (57~60)
常任幹事	稲葉桂子 (60・61)
常任幹事	久保和之 (63・1)
常任幹事	廣岡達郎 (1~4)
常任幹事	齋藤 実 (1~4)
常任幹事	藤澤博隆 (3・4)
常任幹事	明石浩一 (5~8)
常任幹事	山瀬 匠 (8・9)
常任幹事	渡邊孝哉 (9・10)
会計監査	染谷徳昭 (42・43)
会計監査	宮川 守 (47・48)
幹 事	高田日出太郎 (21)
幹 事	萩野新一郎 (21)
幹 事	馬場康夫 (21・22)
幹 事	清 好一 (21~23)
幹 事	石垣義親 (21~23)
幹 事	小野真一 (21~23)
幹 事	澤 直和 (21~23)
幹 事	滝川 昇 (22・23)
幹 事	高橋文吉 (22・23)
幹 事	堀井佳勇 (22・23)
幹 事	勝村一男 (22・23)
幹 事	筏 元 (22・23)
幹 事	中島知之 (22・23)
幹 事	溝口梅男 (22・23)
幹 事	中塩利雄 (22~24)
幹 事	北條 晃 (22~24)
幹 事	長田 渉 (22~24)
幹 事	山内 茂 (22~24)
幹 事	川口正信 (22~24)
幹 事	小林昭雄 (22~24)
幹 事	甲木康夫 (22~24)
幹 事	木村幸夫 (23~25)
幹 事	小林栄三 (23~25)
幹 事	勝俣敏充 (23~25)
幹 事	森下菊美 (23~25)
幹 事	播本 弘 (23~25)
幹 事	長谷川駿一 (23~25)
幹 事	徳増清二 (23~25)
幹 事	石野 進 (23~25)
幹 事	石垣恭弘 (23~25)
幹 事	井上忠彦 (23~25)
幹 事	細田昭次 (23~25)
幹 事	杉山吉房 (23~25)

役 職 氏 名 (在学年度)	
会 長	柴田 正 (41・42)
副 会 長	宮下公雄 (54~57)
副 会 長	高田菊平 (36)
副 会 長	山田浩子 (41・42)
副 会 長	小早川隆義 (42・43)
副 会 長	山崎光義 (44・45)
副 会 長	板垣和代 (36・37)
副 会 長	相田信次 (44・45)
幹 事 長	田中由雄 (42・43)
常任幹事	関野幹雄 (48・49)
(庶務担当)	
常任幹事	関野浩二 (57~60)
(庶務担当)	
常任幹事	弓場重明 (44・45)
(庶務担当)	
常任幹事	野田正人 (62・63)
(会計担当)	
常任幹事	金田 豊 (23~25)
常任幹事	白鳥義仁 (25・26)
常任幹事	田村 実 (26・27)
常任幹事	鈴木義樹 (28・29)
常任幹事	角田義廣 (30・31)
常任幹事	中島敏男 (30・31)
常任幹事	市川紀子 (37・38)
常任幹事	久保田 勝 (38・39)
常任幹事	佐野勝己 (39・40)
常任幹事	土屋忠得 (40・41)
常任幹事	土屋貞明 (42・43)
常任幹事	渡辺忠昭 (42・43)
常任幹事	林田孝二 (43)
常任幹事	山口良児 (43・44)
常任幹事	平岩美知子 (44・45)
常任幹事	鈴木正八 (44・45)
常任幹事	久保田博明 (45・46)
常任幹事	榎本睦美 (45・46)
常任幹事	西野和衛 (46・47)
常任幹事	江本博勝 (46・47)
常任幹事	遠藤晶子 (44・45)
常任幹事	神戸絹代 (47・48)
常任幹事	大島裕二 (52・53)
常任幹事	露木ひろみ (53・54)
常任幹事	齋藤 聡 (54~57)
常任幹事	中西 正 (54~57)
常任幹事	柳川浩昭 (54~57)
常任幹事	高野真一 (54~57)
常任幹事	守野敏也 (55・56)
常任幹事	木村貴美和 (55~58)
常任幹事	横山雅人 (56~59)
常任幹事	小松徳弘 (56~59)

役 職 氏 名 (在学年度)	
顧問	西村満男 (21~23)
顧問	西村美枝子 (22~24)
顧問	中嶋信行 (23~25)
顧問	奥田吉郎 (23~25)
顧問	瀬川一男 (23~25)
顧問	鈴木邦良 (27・28)
顧問	石川貞夫 (28・29)
顧問	平井千枝 (34・35)
顧問	小椋貞夫 (28・29)
参 与	中濱卓弥 (22~24)
参 与	渡辺洋子 (35・36)
参 与	岩崎一雄 (43・44)

役	職	氏 名 (在学年度)
幹事	山崎幸恵	(8・9)
幹事	佐野隆子	(9・10)
幹事	成島敦子	(9・10)
幹事	星美保子	(10・11)
幹事	工藤美咲	(10・11)
幹事	萩野谷 肇	(41・42)
幹事	上田定義	(41・42)
幹事	加藤久貴	(46・47)
幹事	秋山稔明	(46・47)
幹事	前田正丈	(47・48)
幹事	野田 栄	(47・48)
幹事	多田清吾	(47・48)
幹事	辻本真由美	(51・52)
幹事	濱田順二	(53・54)
幹事	吉川浩司	(54・55)
幹事	後藤幸江	(58・59)
幹事	齋藤みどり	(59・60)
幹事	長澤裕子	(59・60)
幹事	中村由美子	(61・62)
幹事	南 まり子	(3・4)
幹事	小池恭子	(4・5)
幹事	白川美保	(5・6)
幹事	小柴慶子	(6・7)
幹事	津田正克	(50・51)
幹事	後藤善夫	(52・53)
幹事	加藤喜章	(53・54)
幹事	鈴木理平	(54・55)
幹事	内野祥司	(55・56)
幹事	杉山勝行	(57・58)
幹事	鈴木文量	(59・60)
幹事	武井直子	(60・61)
幹事	土佐谷泰子	(61・62)
幹事	田伏正和	(1・2)
幹事	名雪しげみ	(1・2)
幹事	菅江 稔	(2・3)
幹事	明石知恵美	(2・3)
幹事	川原浩貴	(3・4)
幹事	小野和彦	(3・4)
幹事	坂口聖剛	(3・4)
幹事	今川高宏	(4・5)
幹事	町野智彦	(5・6)
幹事	池田昌史	(8・9)
幹事	成田伸行	(8・9)
幹事	高橋美鶴	(41・42)
幹事	石黒栄美子	(42・43)
幹事	菊地千尋	(43・44)

役	職	氏 名 (在学年度)
幹事	大村日出雄	(32)
幹事	甲田知由	(33)
幹事	杉本直志	(33)
幹事	吉野洋一	(35)
幹事	鈴木 肇	(35)
幹事	御供政紀	(35・36)
幹事	小澤文郎	(36)
幹事	大西良雄	(37)
幹事	小川武司	(37)
幹事	多田清太郎	(37)
幹事	坂口正剛	(37)
幹事	小石川宣照	(37)
幹事	谷崎邦昭	(38)
幹事	勝亦 誠	(38)
幹事	栗山康雄	(39)
幹事	杉田朋昭	(39)
幹事	両角 勇	(42)
幹事	濱田義之	(45)
幹事	高藤省三	(49)
幹事	滝本 博	(53)
幹事	岩崎尚枝	(41・42)
幹事	小永井京子	(43・44)
幹事	高橋真理子	(44・45)
幹事	石井千枝子	(46・47)
幹事	松村啓子	(51・52)
幹事	佐野有美	(52・53)
幹事	大塚久子	(52・53)
幹事	瀬川晶子	(52・53)
幹事	武田裕美	(55・56)
幹事	勝亦幾代	(56・57)
幹事	北川早苗	(56・57)
幹事	山崎睦子	(57・58)
幹事	高野直美	(58・59)
幹事	阿部昭子	(59・60)
幹事	神田留美子	(60・61)
幹事	橋本由恵	(62・63)
幹事	白石 忍	(63・1)
幹事	渡邊陽子	(1・2)
幹事	小川真弓	(3・4)
幹事	片柳容子	(3・4)
幹事	秋山陽子	(4・5)
幹事	小林智子	(4・5)
幹事	松本佳代子	(5・6)
幹事	古屋美帆	(6・7)
幹事	渡辺さゆり	(6・7)
幹事	小林昌子	(7・8)

役	職	氏 名 (在学年度)
幹事	服部房夫	(23～25)
幹事	浅海武夫	(23～25)
幹事	芦澤克治	(24・25)
幹事	石川 進	(25・26)
幹事	矢澤知秋	(25・26)
幹事	長倉祐作	(25・26)
幹事	宮崎茂樹	(25・26)
幹事	光信 儔	(26・27)
幹事	浅原好胤	(26・27)
幹事	高橋英明	(26・27)
幹事	荒川 通	(26・27)
幹事	塩田 浩	(26・27)
幹事	大井徹也	(26・27)
幹事	稲葉 昭	(26・27)
幹事	熊崎文二	(26・27)
幹事	輿水啓一	(26・27)
幹事	廣田 均	(26・27)
幹事	栗原恒夫	(26・27)
幹事	後藤守雄	(26・27)
幹事	黒滝祐司	(27・28)
幹事	小林義尚	(27・28)
幹事	田村栄一	(27・28)
幹事	関本文彦	(27・28)
幹事	真部喜孝	(27・28)
幹事	結城勇一	(27・28)
幹事	長沢龍助	(27・28)
幹事	佐々木凱男	(27・28)
幹事	川崎一成	(27・28)
幹事	丸山富美男	(28)
幹事	坂詰正衛	(28・29)
幹事	望月知林	(28・29)
幹事	安東安生	(29・30)
幹事	田嶋文義	(29・30)
幹事	寺崎哲郎	(29・30)
幹事	関 哲男	(29・30)
幹事	林田達郎	(29・30)
幹事	森 伸夫	(30・31)
幹事	道見俊廣	(30・31)
幹事	小野 武	(30・31)
幹事	菅 脩	(30・31)
幹事	馬場妙子	(30・31)
幹事	屋鋪公平	(30・31)
幹事	堀 幸男	(30・31)
幹事	根岸元宏	(31・32)
幹事	加藤三洲	(31・32)
幹事	渡部浩司	(31・32)

役	職	氏 名 (在学年度)
幹事	江川	洋 (42)
幹事	藤幡	俊量 (46)
幹事	松原	裕二 (54~57)
幹事	大沼	百合子 (54~57)
幹事	川口	智彦 (54~57)
幹事	諏訪部	健 (55~58)
幹事	平野	雅之 (56~59)
幹事	福田	勝弘 (56~59)
幹事	宇田	隆康 (56~59)
幹事	齋藤	史男 (56~59)
幹事	三浦	仁 (57~60)
幹事	梶	敬 (57~60)
幹事	横田	正 (57~60)
幹事	森田	克彦 (58~61)
幹事	佐上	菊二 (58~61)
幹事	小塚	敏久 (58~61)
幹事	高橋	徹 (59~62)
幹事	横溝	泰蔵 (59~62)
幹事	池尻	敏広 (59~62)
幹事	山田	竜作 (60~63)
幹事	土田	洋二 (60~63)
幹事	桑原	健治 (60~63)
幹事	渡辺	武一郎 (60~63)
幹事	木俣	かおり (61~1)
幹事	増原	伸一 (61~1)
幹事	五十嵐	公喜 (62~2)
幹事	犬塚	重暁 (63~3)
幹事	野口	厚 (63~3)
幹事	藤田	隆 (63~3)
幹事	佐藤	淳悦 (1~4)
幹事	高橋	博樹 (1~4)
幹事	工藤	典子 (1~4)
幹事	長谷川	哲夫 (1~4)
幹事	村上	東洋男 (1~4)
幹事	鈴木	芳典 (1~4)
幹事	須田	啓一郎 (1~4)
幹事	原田	恭平 (1~4)
幹事	椿	昌宏 (1~4)
幹事	南	敦子 (2~5)
幹事	門脇	正朋 (2~5)
幹事	藤原	誠吾 (2~5)
幹事	前田	智也 (2~5)
幹事	坂井	利彰 (2~5)
幹事	小田	純子 (2~5)
幹事	田辺	裕司 (2~5)
幹事	田松	正樹 (2~5)

役	職	氏 名 (在学年度)
幹事	小澤	園子 (6・7)
幹事	中村	理恵子 (6・7)
幹事	川口	由美子 (6・7)
幹事	小野澤	美和 (7・8)
幹事	遠藤	里都美 (7・8)
幹事	白井	里枝 (8・9)
幹事	横田	忍 (8・9)
幹事	齊藤	真由美 (8・9)
幹事	神戸	亜里沙 (9・10)
幹事	大塚	由香 (9・10)
幹事	佐藤	美幸 (10・11)
幹事	青木	由佳 (10・11)
幹事	鈴木	みのり (10・11)
幹事	内田	恵 (10・11)
幹事	村山	景子 (11・12)
幹事	佐野	文美 (11・12)
幹事	秋山	左知子 (12・13)
幹事	鞍本	鮎美 (12・13)
幹事	田角	典子 (13・14)
幹事	小林	由佳 (13・14)
幹事	峯松	園美 (14・15)
幹事	山田	美穂 (14・15)
幹事	岩田	直子 (15・16)
幹事	大沼	秋桜子 (15・16)
幹事	秋山	絵操 (15・16)
幹事	山田	真理子 (15・16)
幹事	宮下	正俊 (39・40)
幹事	菅沼	弘 (39・40)
幹事	中山	義昭 (41・42)
幹事	渡辺	清 (42・43)
幹事	赤地	哲也 (42・43)
幹事	吉田	力 (44・45)
幹事	長倉	良幸 (44・45)
幹事	早川	清文 (45・46)
幹事	三枝	和彦 (46・47)
幹事	勝間	田太住 (47・48)
幹事	瀬川	宏 (47・48)
幹事	天野	寿一 (48・49)
幹事	上原	豊和 (52・53)
幹事	西家	勝彦 (52・53)
幹事	藤本	文彦 (52・53)
幹事	埜村	光伸 (53・54)
幹事	勝呂	千明 (53・54)
幹事	鈴木	啓太郎 (54・55)
幹事	遠藤	日出夫 (37)
幹事	渡辺	博夫 (37)

役	職	氏 名 (在学年度)
幹事	堤	令子 (52・53)
幹事	中澤	小雪 (53・54)
幹事	齋藤	裕子 (53・54)
幹事	押見	恵美子 (54・55)
幹事	船石	圭子 (54・55)
幹事	藤原	和美 (55・56)
幹事	原田	純子 (55・56)
幹事	中澤	由利子 (56・57)
幹事	佐伯	絵里子 (56・57)
幹事	伊藤	若菜 (56・57)
幹事	吉田	麻理子 (56・57)
幹事	小澤	里佳子 (57・58)
幹事	深津	久美子 (57・58)
幹事	田中	恵子 (58・59)
幹事	嶋	由樹子 (58・59)
幹事	鈴木	敦子 (59・60)
幹事	武藤	さゆり (59・60)
幹事	瀬瀬	洋子 (59・60)
幹事	平澤	佳代子 (59・60)
幹事	塩崎	朝子 (60・61)
幹事	加藤	容子 (60・61)
幹事	藤井	由紀子 (61・62)
幹事	穂谷	野弥生 (61・62)
幹事	小島	みちよ (62・63)
幹事	久保	玲華 (62・63)
幹事	杉本	朋子 (62・63)
幹事	大須賀	美穂 (63・1)
幹事	櫻田	智栄美 (63・1)
幹事	三宅	理砂子 (63・1)
幹事	袴田	則子 (63・1)
幹事	田上	順子 (63・1)
幹事	野上	香 (1・2)
幹事	日吉	美由紀 (1・2)
幹事	羽田	真理子 (2・3)
幹事	高田	香世子 (2・3)
幹事	田村	尚子 (2・3)
幹事	杉村	智恵 (2・3)
幹事	市川	智香 (3・4)
幹事	岡本	ゆう子 (3・4)
幹事	望月	ゆりか (4・5)
幹事	室伏	ひとみ (4・5)
幹事	鈴木	春美 (4・5)
幹事	小澤	知子 (5・6)
幹事	井上	雅代 (5・6)
幹事	原田	愛 (6・7)
幹事	西山	志保 (6・7)

役	職	氏 名 (在学年度)
幹事	山川利雄	(13~16)
幹事	浅野雄介	(13~16)
幹事	新居優子	(13~16)
幹事	筒井友恵	(13~16)
幹事	峯多加奈	(13~16)
幹事	山本彩子	(13~16)
幹事	小栗美緒	(13~16)
幹事	勅使河原武史	(13~16)
幹事	相見大輔	(13~16)
幹事	板橋紗綾香	(13~16)
幹事	武田泰弘	(13~16)
幹事	浅石友里子	(13~16)
幹事	渡邊頌子	(13~16)
幹事	岩崎康全	(13~16)

役	職	氏 名 (在学年度)
幹事	川合貴子	(9~12)
幹事	井上明子	(9~12)
幹事	徳田瑞希	(9~12)
幹事	斉藤真規	(10~13)
幹事	長岡福也	(10~13)
幹事	上西智史	(10~13)
幹事	筒井靖子	(10~13)
幹事	杉山祥啓	(10~13)
幹事	渡辺 梓	(10~13)
幹事	大津留真紀	(10~13)
幹事	木内仁美	(10~13)
幹事	佐野京子	(10~13)
幹事	鈴木亜希子	(10~13)
幹事	園部真子	(12・13)
幹事	長谷川郁子	(11~14)
幹事	松下夏葉	(11~14)
幹事	竹腰真裕子	(11~14)
幹事	後藤暢宏	(11~14)
幹事	竹村 直	(11~14)
幹事	清水真由美	(11~14)
幹事	小森美雪	(11~14)
幹事	若月朋子	(11~14)
幹事	杉野美紀	(11~14)
幹事	齋藤久美絵	(11~14)
幹事	川村友江	(11~14)
幹事	猪狩博織	(11~14)
幹事	山下政幸	(11~14)
幹事	小林久美	(11~14)
幹事	堀本晴子	(11~14)
幹事	鈴木さや夏	(13・14)
幹事	川下知恵	(12~15)
幹事	鹿内隼人	(12~15)
幹事	齋藤慎亮	(12~15)
幹事	山本克幸	(12~15)
幹事	楠本幸貴	(12~15)
幹事	川居多希子	(12~15)
幹事	拓殖由美子	(12~15)
幹事	豊永有美子	(12~15)
幹事	原 順子	(12~15)
幹事	平野文星	(14・15)
幹事	小澤有礼	(12~15)
幹事	大野達男	(12~15)
幹事	太田孝一	(13~16)
幹事	穴戸 馨	(13~16)
幹事	高巢幸喜	(13~16)

役	職	氏 名 (在学年度)
幹事	西岡昌仁	(2~5)
幹事	熊田文一	(2~5)
幹事	沼尻正則	(3~6)
幹事	平野靖雄	(3~6)
幹事	若松はるか	(3~6)
幹事	三宅大介	(3~6)
幹事	清水 建	(3~6)
幹事	小塚達郎	(3~6)
幹事	金枝あや	(3~6)
幹事	池田律子	(3~6)
幹事	紅林美智子	(3~7)
幹事	伊藤 敦	(4~7)
幹事	佐藤治夫	(4~7)
幹事	千野琢磨	(4~7)
幹事	日宇功太	(4~7)
幹事	渡辺将之	(4~7)
幹事	杉山文予	(5~8)
幹事	江島照美	(5~8)
幹事	室伏寛美	(5~8)
幹事	田尻美三	(5~8)
幹事	青木 徹	(5~8)
幹事	大嶽龍一	(5~8)
幹事	沖倉保宏	(6~9)
幹事	今川 慶	(6~9)
幹事	田中智康	(6~9)
幹事	久芳 仁	(6~9)
幹事	植松信二	(6~9)
幹事	小林寿成	(7~10)
幹事	望月雅子	(7~10)
幹事	斉藤美根子	(7~10)
幹事	瀬瀬健太郎	(7~10)
幹事	大越久美子	(7~10)
幹事	佐竹 篤	(7~10)
幹事	小泉梨恵	(7~10)
幹事	高島寛幸	(8~11)
幹事	正木創一	(8~11)
幹事	関根大助	(8~11)
幹事	井上善史	(8~11)
幹事	登ヶ谷祐人	(8~11)
幹事	金子浩二	(8~11)
幹事	早乙女桂子	(8~11)
幹事	内田 修	(8~11)
幹事	成田哲浩	(9~12)
幹事	八木美由紀	(9~12)
幹事	清水大督	(9~12)

校友会だより

国際関係学部校友会



国際関係学部校友会

平成十六年十月三十日(土) 十六時から、三島グランドホテル(扇の間)において開催された。

相田信次副会長の司会で進行され、柴田正会長挨拶、佐藤三武朗国際関係学部長の祝辞の後、議長団・書記が選出された。

議長には弓場重明常任幹事、副議長には渡辺直美氏、書記には山瀬匠常任幹事が選出され、次の議事が審議された。

一 平成十五年度事業報告

- 一 平成十五年度決算報告
 - 一 監査報告
 - 一 平成十六年度事業計画(案)
 - 一 平成十六年度予算(案)
 - 一 役員変更の件
 - 一 本部校友会報告
 - 一 各科活動報告
 - 一 その他
- 田中由雄幹事長から、平成十五年度事業報告がなされ、続いて平成十五年度決算報告が野田正人常任幹事会計担当から報告、宮川守会計監査から監査報告があり、それぞれ承認された。
- 続いて平成十六年度事業計画(案)及び平成十六年度予算(案)について審議され、承認された。
- 役員変更については、田中由雄幹事長から桜栄会会長が渡辺洋子氏から板垣和代氏に交代に伴い校友会役員として板垣和代氏を副会長に、小椋貞夫副会長を顧問に、渡辺洋子副会長・岩崎一雄常任幹事・中濱卓弥幹事を参与に、露木ひろみ幹事を常任幹事に変更したい旨報告がなされた。
- 本部校友会報告では、柴田正会長から本部主催の年間会議の報告がなされた。各科活動報告については、特に報告事項はなかった。
- その他として、本部校友会への正会員加入促進の情宣活動をお願いし閉会とした。
- 総会終了後、会場(ダイヤモンド)

を移し懇親会を開催した。田中由雄幹事長の司会で進行され、山崎光義副会長の開会のことばに始まり柴田正会長挨拶の後、来賓挨拶として田中英壽校友会会長代行・佐藤三武朗国際関係学部長の祝辞があった。来賓紹介の後、山内盛葉学部校友会会長による乾杯のご発声で懇談に移った。西村美枝子経済学部校友会副会長の音頭で校歌斉唱、木村幸夫幹事の指揮のもと応援歌となり、宮下公男副会長により万歳三唱・濱田義之幹事の閉会のことばをもって閉会となった。

国際関係学部同窓会

平成十六年十一月二十日、第二十一回国際関係学部同窓会総会・懇親会が国際関係学部(三島キャンパス)にて開催されました。平成十一年の総会から三島と東京で交互の開催することになって以来、三度目の三島会場となりましたが、約六十名の卒業生や来賓の先生方が集い、和やかな会となりました。

総会では、会長挨拶の後、会計報告が行われ、同窓会費の徴収方法に関する説明と同窓会ホームページについて審議されました。

また、写真撮影に続いて行われた親睦会では、国際関係学部長佐藤三武朗先生の挨拶、鈴木弘文事務局長による乾杯の後、懇談に移りました。

懇談会におきましては、来賓の先生方にキャンパスライフや授業についての懐かしい思い出話をして頂くとともに、参加した同窓生の近況報告など、会員同士が久々の再会を分かち合い、祝す光景が至るところで見られました。今回の親睦会会場は、平成十六年七月に完成致しました、十五号館六階パノラマラウンジにて開催し、夕日に染まる富士山や学びやであった三島の夜景を見ながら、より一層思い出話に花を咲かせ、終始和やかな会となりました。

桜栄会

桜栄会では、毎年会報「桜栄」を発行しております。今年度は、三九号を平成十六年三月二十日に発行し、九、二二六名の全会員に郵送いたしました。当番期の方々を中心に作成し、特色ある会報をお届けできたことと思います。

平成十六年六月十三日(日)には、第四四回総会・懇親会が三島グランドホテルで行われ、総会で年間行事報告、会計報告などを行いました。また、杉山佳代氏をお迎えし、大変華やかな演奏会が催されました。引き続き行われた懇親会は、四期・一四期・二四期・三四期の当番期を含む約五十名の会員、佐藤三武朗国際関係学部長をはじめ恩師の先生方や、国際関係学部校友会からの来賓をお迎えして、なごやかな会となりました。

(文責 芳地)



桜栄会



国際関係学部同窓会

日本大学交友会組織図

日本大学校友会(校友会本部事務局)

都道府県支部(65 支部)

北海道ブロック(札幌・旭川・稚内・小樽・帯広・留萌・苫小牧・網走・釧路)
 東北ブロック(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)
 関東ブロック(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・川崎・山梨)
 東京ブロック(東京都第一・東京都第二・東京都第三・東京都第四・東京都第五・
 東京都第六・東京都第七)
 東海ブロック(岐阜・静岡・愛知・三重)
 北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野・長野北信)
 近畿ブロック(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)
 中国ブロック(鳥取・島根・岡山・広島・山口)
 四国ブロック(徳島・香川・愛媛・高知)
 九州ブロック(福岡・北九州・佐賀・長崎・佐世保・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

学部別部会(16 部会)

本部大学院・法・文理・経済・商・芸術・国際・理工・生産工・工・医・歯・松戸歯・生物資源科・薬・通信

職域別部会(4 部会)

全国桜師会・桜門会計人会・日本大学法曹会・全国桜門スポーツ部会

桜 門 会

海外特別支部(7 支部)

韓国・ブラジル・ロサンゼルス・台湾・サンフランシスコ・スペイン・ニューヨーク

日本大学国際関係学部交友会組織図

国際関係学部校友会
(旧三島同窓会)

国際関係学部同窓会

短期大学部

桜文会(国文・英文)

商科同窓会(1・2部)

桜栄会(家政・食栄・生活)

工科同窓会(建築・機械)

三島予科

三島教養部

文理学部(三島)